

ゲストトーク

今年のゲスト監督は、ある男とライオンの人形の不思議な恋を描いた『ジオット』のホ・ジュンソクさんです。実写とパペットを組み合わせた斬新で実験的な映像、アダルトな笑い満載の中に時事問題をも組み込んだ怪作『ジオット』の制作秘話に迫ります。

日時: 6月10日(土)
16:20の短編プログラム2
上映終了後

ゲスト: ホ・ジュンソク
(『ジオット』監督)

*日本語通訳あり

ゲスト紹介: ホ・ジュンソク

1977年、ソウル生まれ。桂園造形芸術大学アニメーション学科卒。『こんにちは、クロベさん』(2006)、『いつでも返品してください』(2010)を演出。『ジオット』(2016)は、ソウル独立映画祭、ミジャンセン短編映画祭などで上映され好評を博す。bean studios所属。フリーランスのアニメーション監督としても活動中。



スペシャルトーク

アジア短編プログラム「アジア路」の上映作は、韓国のアニメーション映画祭「インディ・アニフェスト」のアジアコンペ部門入選作から選定されています。ハイクオリティな作品が勢揃いした同部門のプログラム・コーディネーターを務めたイ・ギョンファさんをお招きし、アジア部門設立の趣旨、今後の展望などについて語っていただきます。

日時: 6月10日(土)
18:20の
アジア短編プログラム
上映終了後

ゲスト: イ・ギョンファ
(映画祭プログラム・
コーディネーター)

*日本語通訳あり

ゲスト紹介: イ・ギョンファ

アニメーション作家。代表作に『アンダーグラウンド』(2012)がある。ソウル国際漫画アニメーション・フェスティバル(SICAF)で映画祭業務を担当。韓国のアニメーション監督を紹介する韓日英語による多言語専門誌『Seoul & Animator』出版。インディ・アニフェスト2016でアジアコンペ部門「アジア路」プログラム・コーディネーターを務める。



Schedule

6月10日(土)

- 13:00 短編プログラム1「宇宙の記憶」
- 14:40 短編プログラム3「宇宙の旅」
- 16:20 短編プログラム2「宇宙の形」
+ゲストトーク
- 18:20 アジア短編プログラム「アジア路」
+スペシャルトーク

※ 6月10日(土) 21:00より交流会を予定。
詳細はお問い合わせください。

6月11日(日)

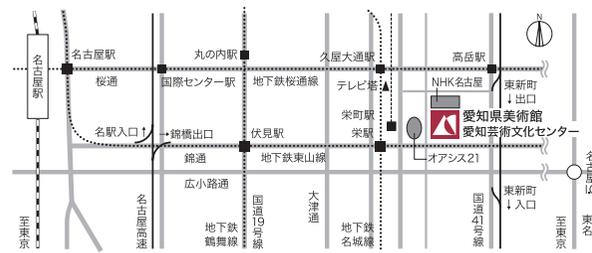
- 12:00 アジア短編プログラム「アジア路」
- 13:40 短編プログラム2「宇宙の形」
- 15:20 短編プログラム3「宇宙の旅」
- 17:00 短編プログラム1「宇宙の記憶」

■チケット(当日券のみ)

1プログラム: 一般1,000円/学生500円

■お問い合わせ シネマコリア(西村) TEL 090-1863-7855

Access



愛知芸術文化センター 12階 アートスペースEF

名古屋市東区東桜1-13-2 TEL 052-971-5511(代)
地下鉄・東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

主催: 韓国インディペンデント・アニメーション協会(KIAFA)
シネマコリア
愛知県美術館

後援: 大韓民国文化体育観光部
駐日韓国大使館 韓国文化院
日本アニメーション学会
日本アニメーション協会

協力: ANIMATION TAPES
新千歳空港国際アニメーション映画祭
韓国コンテンツ振興院(KOCCA)



公式サイト <http://www.anikr.com>
最新情報はTwitterをフォローしてゲット! @hanakoriJP
花コリfacebookファンページ
<http://www.facebook.com/koreananimation>

Korea Independent Animation Film Festival

花開くコリア・アニメーション2017 + アジア

韓国唯一のインディーズ・アニメーション映画祭「インディ・アニフェスト」から
世界の映画祭を席卷する韓国短編26本と
日本・中国・インド・イスラエル・シンガポール・イラン出身監督による
アジアコンペ部門の秀作8本を一挙上映!



2Days!

2017.6.10 Sat - 6.11 Sun
Place: 愛知芸術文化センター 12階
アートスペースEF

当日券: 1プログラム 一般1,000円/学生500円

花開くコリア・アニメーション2017 + アジア

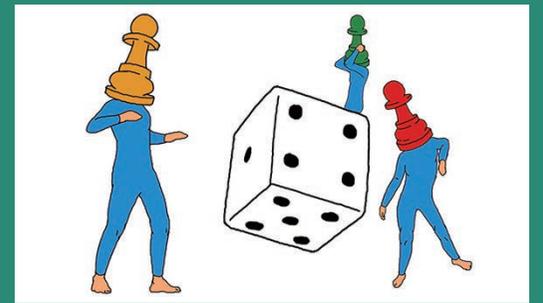
“花コリ”の愛称で親しまれ、東京・大阪・名古屋で開催されてきた「花開くコリア・アニメーション」も本年、日本開催10回目の節目を迎えることとなりました(名古屋会場は8回目)。今年も韓国唯一のインディーズ・アニメーション映画祭「インディ・アニフェスト」最新上映作から、「宇宙の記憶」「宇宙の形」「宇宙の旅」の3つのテーマで、韓国の“今”をビビッドに体感できる短編26本をお届けします。更に、

昨年から同映画祭に新設されたアジアコンペ部門「アジア路」から、アジアの息吹を感じられる必見作8本を上映します。ゲストは、花コリ・スタッフ押し作品『ジオット』のホ・ジュンソク監督と、インディ・アニフェスト2016アジアコンペ部門「アジア路」のプログラム・コーディネーター、イ・ギョンファさん。「+アジア」によって更に多様性を増した花コリにご期待ください。 ***全プログラム日本語字幕付き**



★今年の見どころ★

各プログラムの冒頭に上映される、映画祭トレーラー。今年は「インディ・アニフェスト2016」で大賞を受賞した『Little King』のキム・ヘミ監督が制作しました。映画祭トレーラー初の、実写から始まるビックリ映像(!?)をお見逃しなく!



短編プログラム 1 宇宙の記憶

72min/9作品

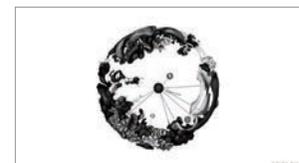
宇宙は広々とした時間であり、終わりのない空間だ。そして、道行く子どもからお年寄りまでの一人一人の胸の中、小さな部屋の中、大きな世界の中、それぞれの内部に、自分だけの宇宙が存在する。その中に住んでいる私たちは、みな、宇宙の記憶なのだ。



『ピアノと子ども』
イ・ヒョンミ/2016/06:26



『ウォークマン』
キム・ヘリョン/2015/11:51



『O』
エリック・オー/2015/03:31



『床に耳をすまして』
チェ・ソヒョン/2016/08:07



『鹿の花』
キム・ガンミン/2015/07:34



『死について』
イ・ウンジェ/2016/07:25



『空き部屋』
チョン・ダヒ/2016/09:27



『OVERLOAD』
カン・スヒョン/2015/05:03



『父の部屋』
チャン・ナリ/2016/08:16

短編プログラム 2 宇宙の形

73min/9作品

私たちがそれぞれに認識している世界の姿。そのかけらを集めてみれば、この宇宙の“形”が、分かるのではないかと。個々の内面に抱える問題から、同性愛、美容整形、自然破壊に至るまで、さまざまな社会問題をテーマに作品を集めてみた。平和を願う心を込めて。



『PEACE ROAD』
12チーム、16名の多国籍作家/2016/07:30



『ジオット』
ホ・ジュンソク/2016/24:59



『私はフランス語ができません』
アン・ソジョン/2016/04:12



『Before & After』
カン・ミンジ/2016/07:54



『役割ごっこ』
イ・ヘジュ/2015/04:00



『ピクニック』
ムン・セウン/2016/03:25



『Insect Bite』
イ・ナユン/2015/02:29



『疲労度』
キム・ダヨン/2016/02:01



『白い沈黙』
キム・ヒョミ/2016/13:41

短編プログラム 3 宇宙の旅

73min/8作品

愛を探しに、または悪党を倒しに、私たちはいつも旅をしている。偶然の出会い、不思議な世界への誘いであり、新たな恐怖のきっかけでもある。それでも、旅の終わりに待っているのは、小さな希望に違いない。そう信じ願いながら、また一歩を踏み出していく。



『モスキート』
ソン・ギヒョン/2016/08:22



『Devil Cat』
チョン・ヘウォン/2016/08:05



『行ってきます』
チョン・スンベ/2015/08:21



『えさ』
キム・ボヨン/2015/04:20



『Jungle Taxi』
キム・ハケン/2016/07:44



『みんなのゲーム』
チョ・イエスル/2016/09:37



『Green Light』
キム・ソンミン/2016/15:33



『END & AND』
ホン・ソンウ、キム・ジュ/2015/07:10

アジア短編プログラム アジア路

NEW! Guest!

77min/8作品

「インディ・アニフェスト2016」より新設されたアジアコンペ部門「アジア路」から、秀作8本を紹介する。世界的に注目を集めている中国のアニメーションから、インド、イラン、シンガポール、イスラエル、そして日本、さまざまな地域の表現を通じて、アジアの“現在”を感じられるだろう。



『あたしだけをみて』
見里 朝希/2016/07:30/日本



『猿』
ジェ・シェン/2015/05:09/中国



『サティの「バラード」』
山村浩二/2016/14:12/日本



『Schirkoa』
イジャン・シュクラ/2016/13:31/インド



『Within Thy Walls』
オメール・シャーロン、ダニエラ・シュニチャー
2015/07:17/イスラエル



『142号棟のトラ』
ハリー・チュワン、ヘンリー・チュワン
2016/11:12/シンガポール



『Entr'acte』
モハマド・レザ/2016/05:33/イラン



『イメージをつくる』
ニーナ・サブナニ/2016/08:51/インド

リレー・アニメーション『PEACE ROAD』

- ジェローム・メトロ ● キム・ジュ&チョン・ジェユン ● 村上寛光
- パク・ソニョル ● イ・ウナ&チョン・ヘユン ● キム・ギュヒョン&ヒョン・ウンジュ
- ハ・ソニョン ● 助川勇太 ● ユ・ヘヨン ● パク・ビョンヒョン
- ヨシムラ エリ ● 船本恵太 & ElizABETH (SILT)

多数のアニメーターがリレー形式で映像をつないでいく、リレー・アニメーション。今回も「インディ・アニフェスト2016」のために、韓国・日本・スイスのアニメーション作家12チーム16名が、“平和”をテーマに作品を制作しました。日本からは、日本アニメーション協会の会員4名が参加しています。

● 短編プログラム2にて上映